

関西 2 府 4 県 GRP の早期推計 No.6

2025 年 11 月 27 日

小川 亮 (APIR リサーチャー)
稲田 義久 (APIR 研究統括兼数量経済分析センター長)

トピックス：

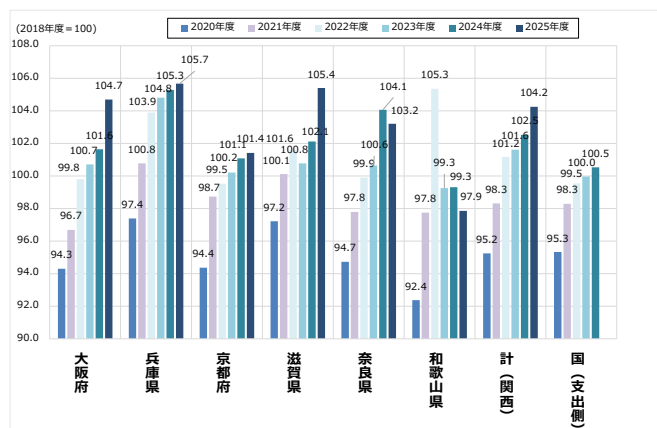
関西各府県の GRP 成長動態¹⁾：

2023-24 年度早期推計値及び 25 年度超短期予測

【大阪・関西万博と関西経済】

2022 年度の関西の府県別域内総生産(GRP)が各府県で公表された。図表 1 は 2018 年度を 100 とした各府県の実質 GRP の推移を示したものである²⁾。関西各府県の 22 年度の実質 GRP をみれば、関西(101.2)は国全体(99.5)よりも先にコロナ禍前の水準を回復した。

図表 1 各府県の GRP 推移(2018 年度=100)



出所：筆者作成

2022 年度を府県別にみれば、和歌山県(105.3)、兵庫県(103.9)や滋賀県(101.6)はコロナ禍前の水準を上回り、奈良県(99.9)、大阪府(99.8)や京都府(99.5)もほぼ同水準を回復した。

*本レポートは、超短期予測の手法に基づき、関西各府県のGRPの早期推計を行うものである。予測改訂頻度は半期に1度に行われる。
詳細な手法についてはNo.1のAppendixを参照のこと。

【今回の予測の要約】

2023 年度の予測値をみれば、全国はコロナ禍前の水準を回復したのに対して、関西は 1.6%と全国を上回る回復が予測される。府県別で 18 年度を上回ったのは兵庫県(104.8)、滋賀県(100.8)、大阪府(100.7)、奈良県(100.6)、京都府(100.2)であった一方、和歌山県(99.3)は幾分下回った。

さらに 2024 年度の予測値をみると、関西(102.5)は国全体(100.5)より高い回復が予測される。兵庫県(105.3)、奈良県(104.1)、滋賀県(102.1)、大阪府(101.6)、京都府(101.1)は前年度から増加を維持するが、和歌山県(99.3)は前年度と同水準となると予測される。

2025 年度の超短期予測をみれば、滋賀県(105.4)、大阪府(104.7)はいずれも前年度から大幅増がみ込まれる。また、兵庫県(105.7)や京都府(101.4)は前年度より幾分加速するが、奈良県(103.2)と和歌山県(97.9)は前年度から幾分減速すると予測される。2025 年度では特に大阪府の成長寄与が目立つ。この背景には、2025 年の大阪・関西万博開幕の影響に加え、25 年 4 月に着工が開始された IR(統合型リゾート)の建築着工予定額の大幅増加があり、関西経済全体の押し上げに寄与している。

¹⁾ 関西 2 府 4 県の GRP 生産サイド予測では、各経済月次指標から主成分を計算し、それと GRP の回帰式から予測系列の作成を行ってきた。しかし、これまでの府県別 GRP の実績系列と予測系列の当てはまりの良さをみれば、標本期間の前半では当てはまりが良いものの、足下、特にここ 5 年の当てはまりが悪くなる府県が散見された。今回の予測では、加重最小

二乗法を用いて兵庫県と滋賀県と奈良県について足下の当てはまりの良さを改善する手法を試行し、予測精度の向上を目指した。
²⁾ これまで 2019 年度を 100 とする指数を発表してきたが、コロナ禍は 2019 年度の第 4 四半期に含まれるため、今回よりその影響を排除した 18 年度の値と比較することとした。

予測要約表

	大阪府	兵庫県	京都府	滋賀県	奈良県	和歌山県	計（関西）	国（支出側）
モデルの推計期間	2006－22	2006－22	2006－22	2006－22	2006－22	2006－22		
●モデルの適合度								
自由度修正済決定係数	0.71	0.71	0.76	0.57	0.96	0.27	-	
GRP水準のMAPE（%）	1.11	1.67	1.21	3.94	2.03	1.81	-	
GRP成長のMAPE（%）	1.62	2.12	1.64	2.82	1.88	2.19	-	
<2018－2022年度>								
GRP水準のMAPE（%）	1.12	1.32	1.21	1.71	0.13	3.16	-	
GRP成長のMAPE（%）	1.47	1.62	1.42	0.92	0.33	3.01	-	
●実質GRP（10億円）								
FY2020(実績)	39,077	21,622	10,195	6,820	3,636	3,440	84,790	528,630
FY2021(実績)	40,067	22,374	10,667	7,024	3,754	3,640	87,525	545,042
FY2022(実績)	41,359	23,067	10,752	7,126	3,835	3,923	90,063	551,971
FY2023(早期推計)	41,733	23,270	10,826	7,070	3,863	3,696	90,457	554,323
FY2024(早期推計)	42,120	23,376	10,921	7,164	3,994	3,698	91,274	557,474
FY2025(超短期予測)	43,385	23,463	10,956	7,395	3,961	3,644	92,804	
●実質成長率（%）								
FY2021(実績)	2.5	3.5	4.6	3.0	3.2	5.8	3.2	3.1
FY2022(実績)	3.2	3.1	0.8	1.5	2.2	7.8	2.9	1.3
FY2023(早期推計)	0.9	0.9	0.7	-0.8	0.7	-5.8	0.4	0.4
FY2024(早期推計)	0.9	0.5	0.9	1.3	3.4	0.1	0.9	0.6
FY2025(超短期予測)	3.0	0.4	0.3	3.2	-0.8	-1.5	1.7	
●実質成長率（%）：寄与度ベース								
FY2021(実績)	1.2	0.9	0.6	0.2	0.1	0.2	3.2	
FY2022(実績)	1.5	0.8	0.1	0.1	0.1	0.3	2.9	
FY2023(早期推計)	0.4	0.2	0.1	-0.1	0.0	-0.3	0.4	
FY2024(早期推計)	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.9	
FY2025(超短期予測)	1.4	0.1	0.0	0.3	0.0	-0.1	1.7	

注1：MAPEはMean Absolute Percentage Error（平均絶対誤差率）の略。

注2：実質GRPは生産側の連鎖価格表示。

注3：日本経済の実質成長率（支出側）の出所は内閣府。

注4：新基準は2011年度以降が2015年基準値、2010年度以前は旧基準値を新基準値に接続。

注5：兵庫県、滋賀県、奈良県では、サンプル期間のうち直近のデータの当てはまりを相対的に重視する加重最小二乗法を採用し、ウェイトは過去にさかのぼるほど指数関数的に減衰するよう設定している。

出所：筆者作成

関西各府県の予測

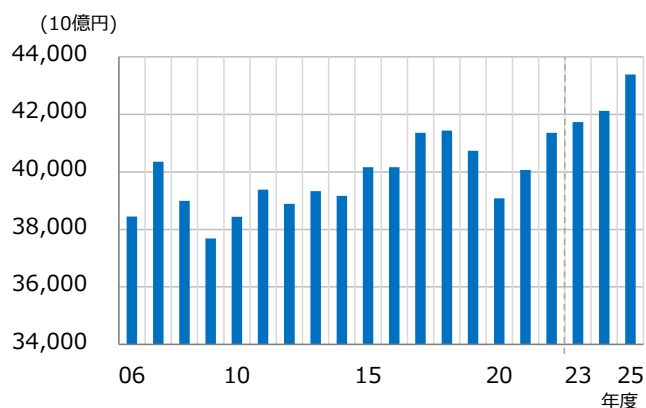
(1) 関西

関西 2 府 4 県の実質 GRP(生産側)の合計でみた実質成長率は、早期推計によると 2023 年度が+0.4%、24 年度が+0.9%になり、超短期予測によると 2025 年度が+1.7%になると見込まれる。コロナ禍の経済不況からの回復が一服したのちに、23 年度以降でプラス成長が続くと予想される。

(2) 大阪府

大阪府の実質 GRP は、2023 年度が 41.73 兆円、24 年度は 42.12 兆円、25 年度は 43.39 兆円となる。実質成長率でみると、23 年度が+0.9%、24 年度が+0.9%、25 年度が+3.0%となる。22 年度にコロナ禍の景気後退から回復した後、成長トレンドが続き 25 年度は大きな伸びが見込まれる(図表 2)。

図表 2 大阪府の実質 GRP



注：2022 年度までは実績値、23 年度と 24 年度は APIR 早期推計値、25 年度は APIR 超短期予測。

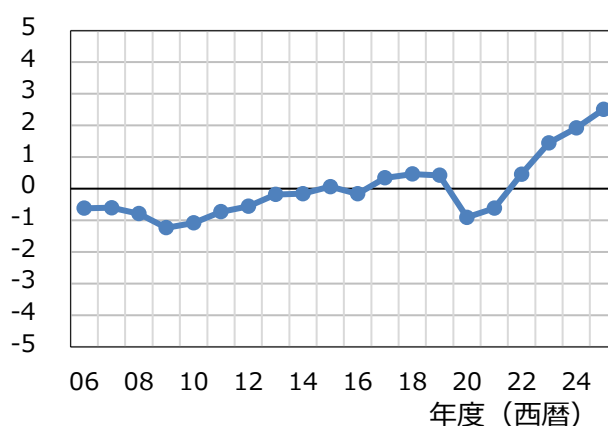
出所：筆者作成

予測モデルで採用している大阪府の一次統計のうち、消費、企業投資の動きを表す 2 つの統計の特徴を確かめる。まずは、大型小売店販売額(従業者一人あたり)である。図表 3 をみると、コロナ禍前の水準(2019 年度)

に対して 22 年度に回復し、23 年度に凌駕し、24 年度も続伸した。25 年度予測値でもさらに続伸すると予想される。

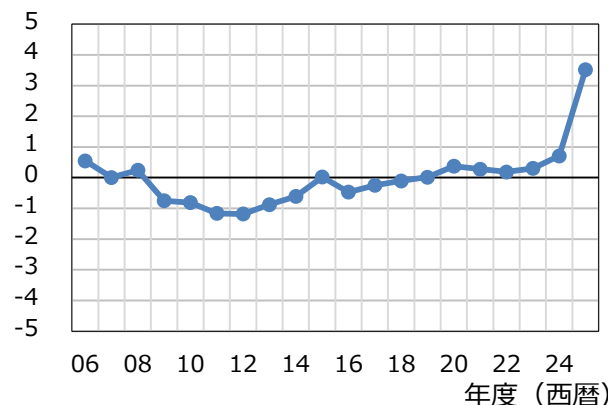
次に企業投資である。図表 4 は建築着工工事費予定額：会社(後方 5 カ月平均値の年度平均値)である。ここ 10 年間に於いておおむね増加トレンドにあり、25 年度予測値については、大阪 IR の建設開始もあって大きな増加がみられる。

図表 3 大阪府の大型小売店販売額(対従業者数)³⁾



出所：筆者作成

図表 4 大阪府の建築着工工事費予定額：会社



出所：筆者作成

(3) 兵庫県

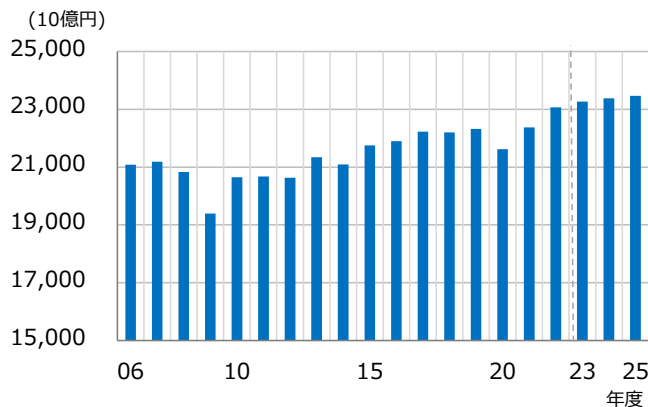
兵庫県の実質 GRP は、2023 年度が 23.27 兆円、24 年度が 23.38 兆円、25 年度が 23.46 兆円となる。実

³⁾ 各月次指標の動きを比較可能とするために、月次値を年度平均値にした後に標準化(平均値を 0、標準偏差を 1 に変換)している。

なお、2025 年度におけるデータ公表前の月次値は VAR モデルによる予測値を使用した。

質成長率は 23 年度が+0.9%、24 年度が+0.5%、25 年度が+0.4%となる。23 年度以降で 1 %未満のプラス成長が続くと予測される(図表 5)。

図表 5 兵庫県の実質 GRP

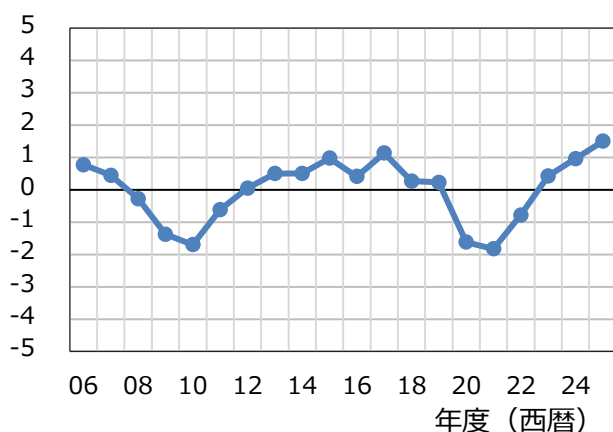


注：2022 年度までは実績値、23 年度と 24 年度は APIR 早期推計値、25 年度は APIR 超短期予測値。

出所：筆者作成

兵庫県の一次統計でも消費と企業投資に着目する。図表 6 は大型小売店販売額(従業者一人あたり)である。2020 年度と 21 年度の落ち込みから回復傾向にあり、23 年度にコロナ禍前の水準を超え、24 年度以降も続伸している。

図表 6 兵庫県の大型小売店販売額(対従業者数)

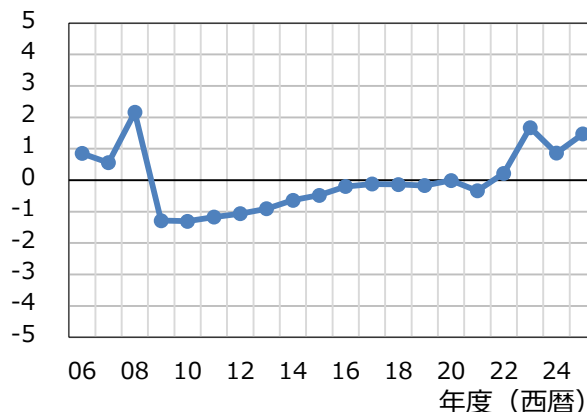


出所：筆者作成

次に企業投資である。図表 7 の建築着工工事費予定額：会社(後方 5 カ月平均値の年度平均値)をみると、

2022 年度までは横ばいの傾向を示していたが 23 年度に大きく増加した。24 年度以降は 23 年度より幾分減速した。25 年度予測値は増加に転じると見込まれる。

図表 7 兵庫県の建築着工工事費予定額：会社

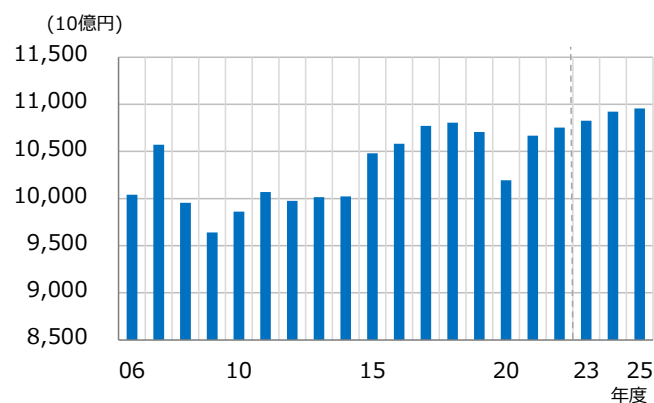


出所：筆者作成

(4) 京都府

京都府の実質 GRP は、2023 年度が 10.83 兆円、24 年度が 10.92 兆円、25 年度が 10.96 兆円となる。実質成長率は 23 年度が+0.7%、24 年度が+0.9%、25 年度が+0.3%となる。23 年度以降も堅実なプラス成長が続くものの、25 年度はやや伸びが鈍化すると予測される(図表 8)。

図表 8 京都府の実質 GRP



注：2022 年度までは実績値、23 年度と 24 年度は APIR 早期推計値、25 年度は APIR 超短期予測値。

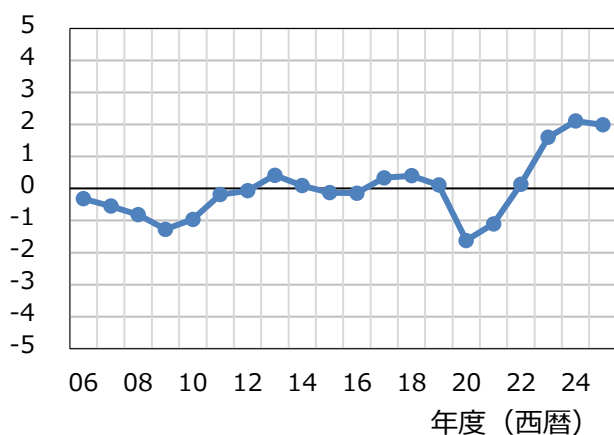
出所：筆者作成

京都府の一次統計でも消費と企業投資に着目する。

図表 9 は大型小売店販売額(従業者一人あたり)であり、コロナ禍後は大阪府と同様に伸びが続いてきたが、2025 年度にはその動きに一服感がみられる。

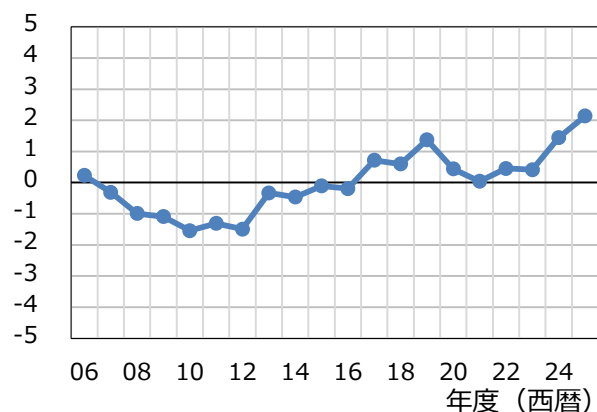
次に企業投資の動きである。図表 10 の建築着工工事費予定額：会社(後方 5 カ月平均値の年度平均値)をみると、2021 年度に落ち込みで底を打った後、24 年度まで回復傾向が続いた。25 年度も続伸すると予測される。

図表 9 京都府の大型小売店販売額(対従業者数)



出所：筆者作成

図表 10 京都府の建築着工工事費予定額：会社



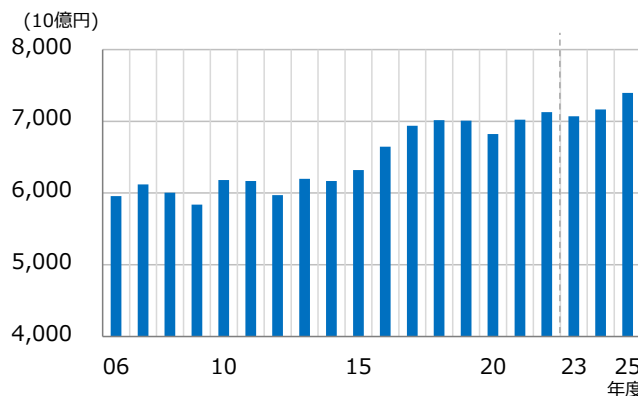
出所：筆者作成

(5) 滋賀県

滋賀県の実質 GRP は、2023 年度が 7.07 兆円、24 年度が 7.16 兆円、25 年度が 7.40 兆円となる。実質成長率は 23 年度が-0.8%、24 年度が+1.3%、25 年度

が+3.2%となる。23 年度にマイナス成長になるもののその後はプラス成長が続くと見込まれる(図表 11)。

図表 11 滋賀県の実質 GRP

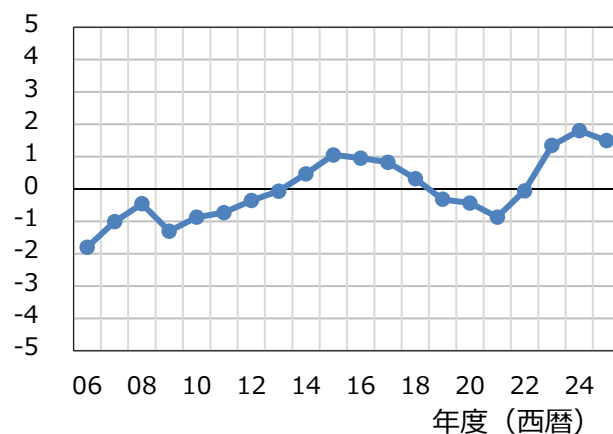


注：2022 年度までは実績値、23 年度と 24 年度は APIR 早期推計値、25 年度は APIR 超短期予測値。

出所：筆者作成

滋賀県の一次統計でも、消費と企業投資の動きを確認する。まず、図表 12 は大型小売店販売額(従業者一人あたり)である。2015 年度から低下が続いたが、22 年度から回復傾向に転じている。23 年度には 15 年度を超える水準になるほどの大きな伸びとなり、24 年度も増加を維持した。しかし、25 年度予測値は京都府と同様にその動きに一服感がみられる。

図表 12 滋賀県の大規模小売店販売額(対従業者数)

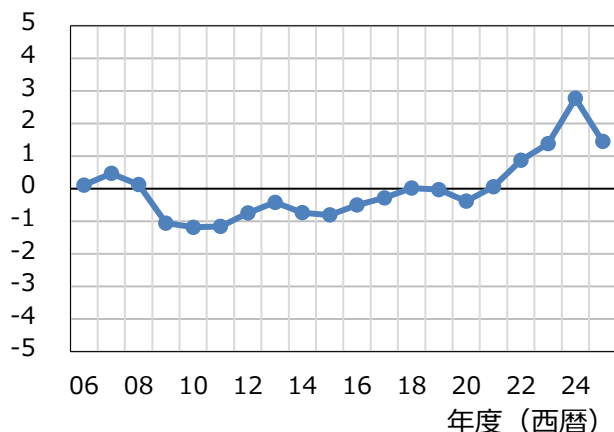


出所：筆者作成

次に企業投資である。図表 13 の建築着工工事費予定額：会社(後方 5 カ月平均値の年度平均値)をみる

と、ここ 10 年間に於いておおむねプラス成長の傾向であったが、特に 23 年度に大きな伸びを示し、24 年度もさらに続伸した。しかし、25 年度予測値は 22 年度の水準に後退すると見込まれる。

図表 13 滋賀県の建築着工工事費予定額：会社

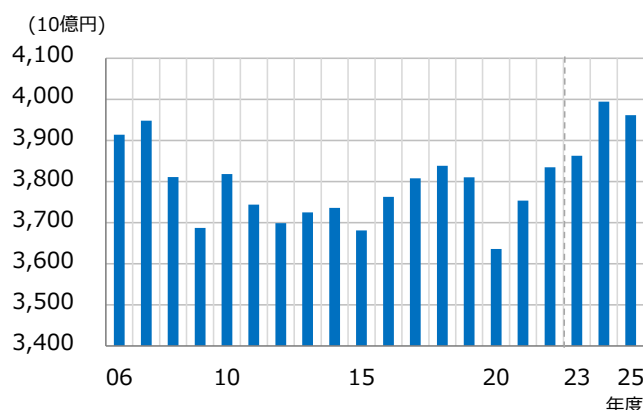


出所：筆者作成

(6) 奈良県

奈良県の実質 GRP は 23 年度が 3.86 兆円、24 年度が 3.99 兆円、25 年度が 3.96 兆円となる。実質成長率は、23 年度が+0.7%、24 年度が+3.4%、25 年度が-0.8%となる。22 年度から 23 年度にかけて緩やかに成長し、23 年度から 24 年度にかけては成長が加速するが、25 年度にはやや後退すると予測される(図表 14)。

図表 14 奈良県の実質 GRP

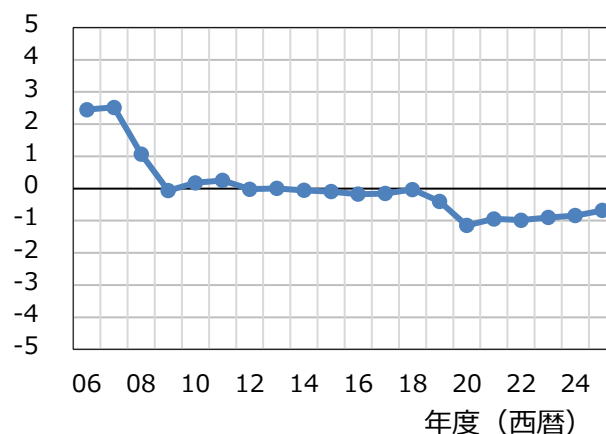


注：2022 年度までは実績値、23 年度と 24 年度は APIR 早期推計値、25 年度は APIR 超短期予測値。

出所：筆者作成

奈良県の一次統計では、生産に着目する。図表 15 は、製造工業生産指数である。コロナ・ショックにより 20 年度に落ち込んだ後、21 年度から 24 年度にかけてほぼ横ばい傾向にあった。25 年度もそれが続くと予測される。

図表 15 奈良県の製造工業生産指数

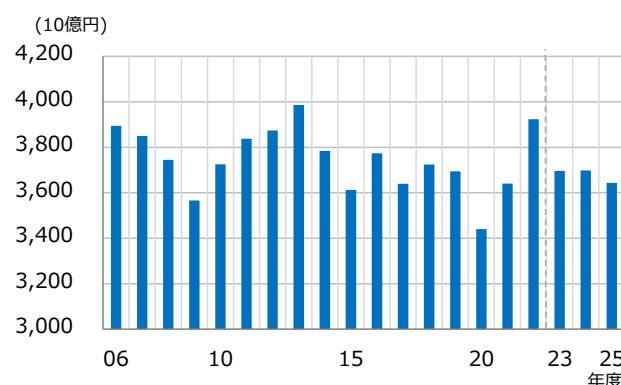


出所：筆者作成

(7) 和歌山県

和歌山県の実質 GRP は、2023 年度が 3.70 兆円、24 年度が 3.70 兆円、25 年度が 3.64 兆円となる。実質成長率は 23 年度が-5.8%、24 年度が+0.1%、25 年度が-1.5%となる。23 年度は落ち込み、24 年度は横ばい、25 年度はマイナス成長になると予想される(図表 16)。

図表 16 和歌山県の実質 GRP



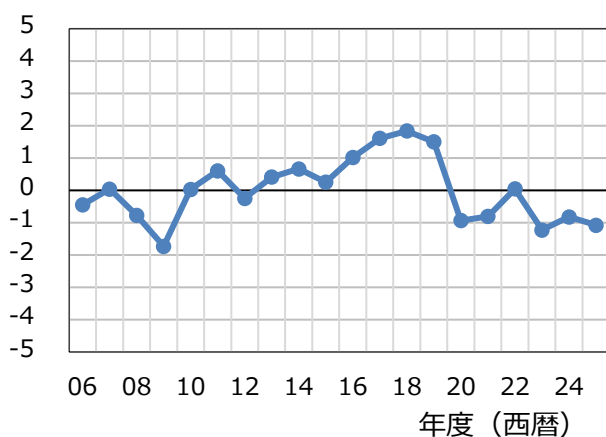
注)2022 年度までは実績値、23 年度と 24 年度は APIR 早期推計値、25 年度は APIR 超短期予測値。

出所：筆者作成

和歌山県の一次統計では、生産と投資の動きを確認する。図表 17 は、製造工業生産指数になる。2020 年度・21 年度のコロナ禍の落ち込みから、22 年度に大きく回復したが、23 年度に再び落ち込み、24 年度以降もその停滞が続くとみられる。

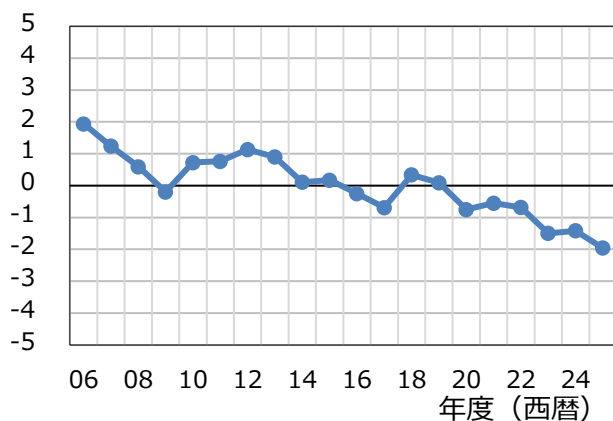
図表 18 は、建築着工床面積(後方 5 カ月平均値の年度平均値)である。2021 年度から低下傾向で続いた。25 年度予測値でもさらに低下すると予想される。

図表 17 和歌山県の製造工業生産指数



出所：筆者作成

図表 18 和歌山県の建築着工床面積



出所：筆者作成

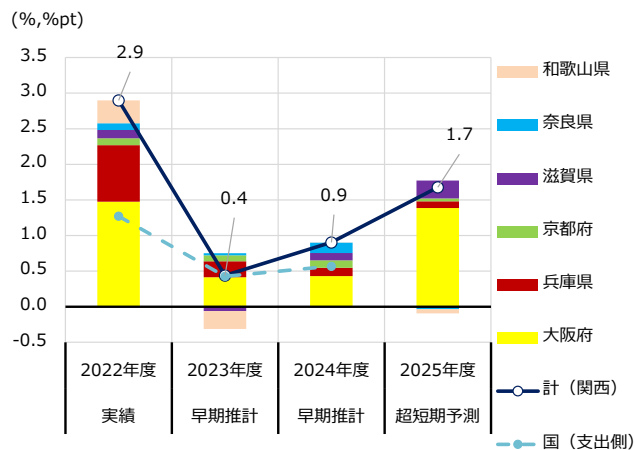
(8) 府県別のまとめ

最後に、2022-25 年度における関西経済の各年度成長率に対する府県別寄与度を図表 19 に示す。

2022 年度の GRP(実績)は関西全体で+2.9%のプラス成長であり、全府県がプラスに寄与している。特に大

阪府(+1.5%pt)、兵庫県(+0.8%pt)のプラスの寄与度は大きい。23 年度、24 年度は 1%未満にとどまるものの、プラス成長が続くと見込まれる。25 年度には大阪府の牽引により、関西全体で 1%台の成長率が予想される。

図表 19 関西の実質成長率と府県別寄与度



出所：筆者作成